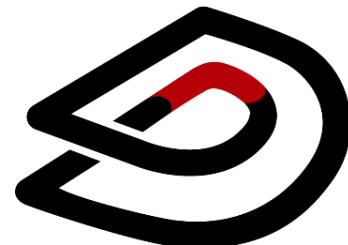


人を不幸にしないための、デジタルと



デジタルプラス

2025年9月期 第3四半期
決算説明資料

流通総額21四半期連続成長・前Q比112%、年間135億ベース

3Qも流通総額拡大を最優先とし、資金移動業の登録に向けて自粛した一部取引や
ファクタリング事業の低調がありつつも、流通総額は連続成長を実現

資金移動業取得・口座開設完了、9月までに正式リリースへ

デジタルウォレットで報酬などの役務提供や対価性のあるものの対応が可能に、
流通総額1,000億円へ向けた重要な一手となる

純フィンテックセグメント(デジタル&除く) 過去最高益更新見込み

流通総額拡大へ2Qからさらに3Qは積極投資し、4Q以降投資回収フェーズへ突入
4Qにおいて、初のセグメント利益1億円超を見込む

3Q累計全社営利▲42百万円、4Q単体の全社営利は50~70百万円見込み

3Qは流通総額拡大に向けたディスカウント販促や資金移動業取得費用、デジマセグメントの事業売却等の選択と集中により、4Q以降はフィンテック単体の貢献で全社黒字化へ

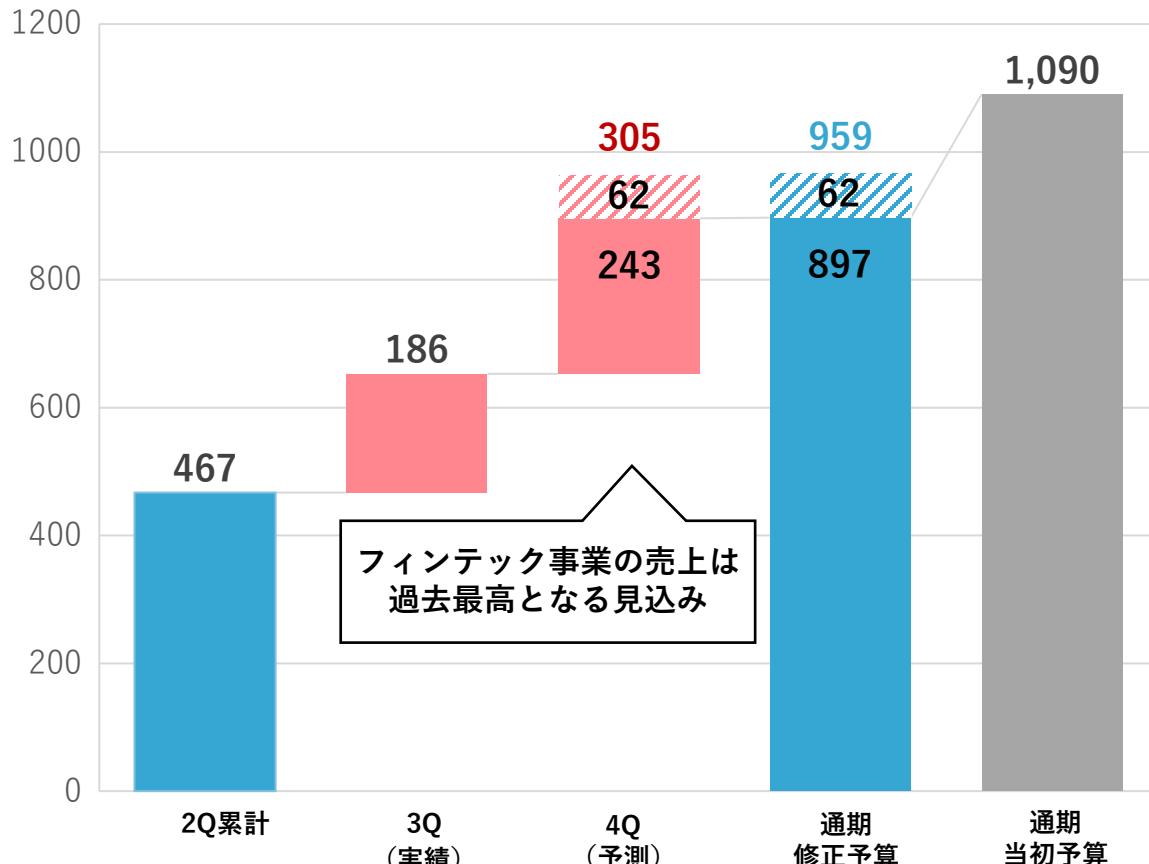
2025年9月期 通期業績予想の修正



流通総額拡大に注力するために、ディスカウント販促、資金移動業の取得投資、またデジマ事業売却によって、3Qの営業利益は赤字で着地。一方、4QにはV字回復予定。来期大幅な営業利益ベース構築

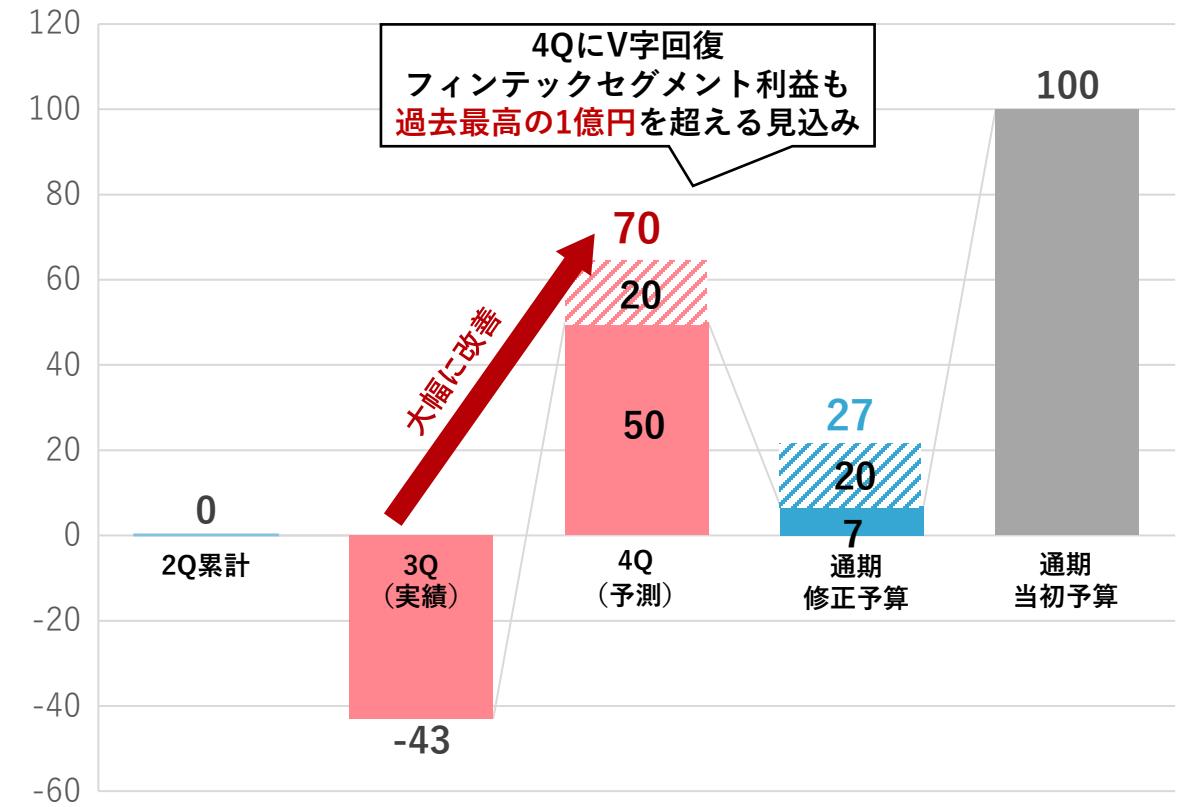
売上高

(単位：百万円) レンジ幅



営業利益

(単位：百万円) レンジ幅



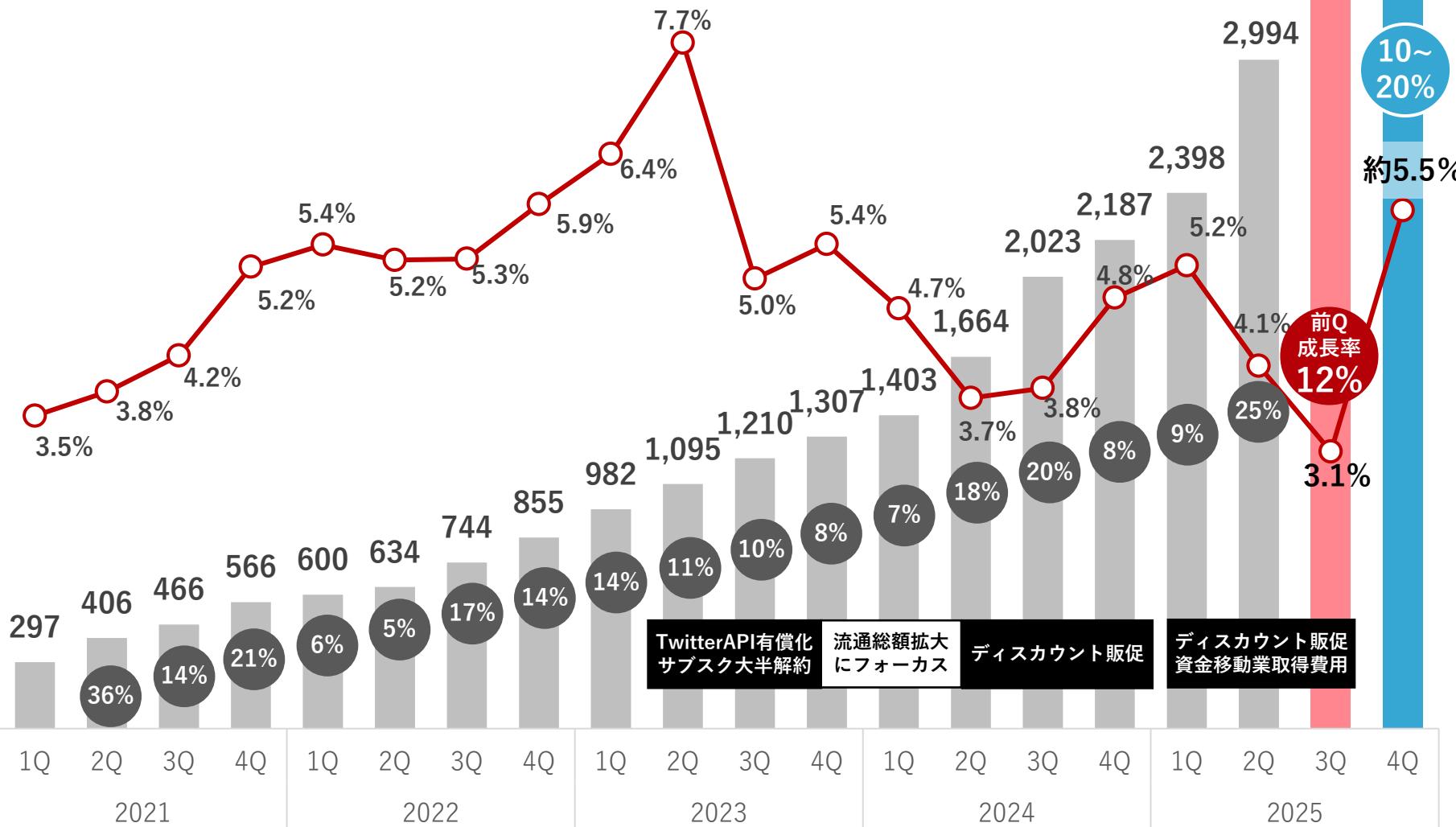
※4Qは減損損失が業績(営業利益)に影響する可能性がございます

フィンテック流通総額・流通粗利率の四半期推移

■ 流通総額
○ 流通粗利率

(単位：百万円)

※流通粗利率：デジタル&除く



予測

3,500~4,000 2025年9月期第3四半期サマリ

1 流通総額
21四半期連続成長
前四半期比112%
約34億円に到達
年間約135億円ベース

2 流通総額拡大を優先した
ディスカウント販促により
流通粗利率は、低下傾向だ
が、過去同様(2024/2Q-
2025/1Q)に改善見込み
第4四半期は約5.5%まで
改善見込み

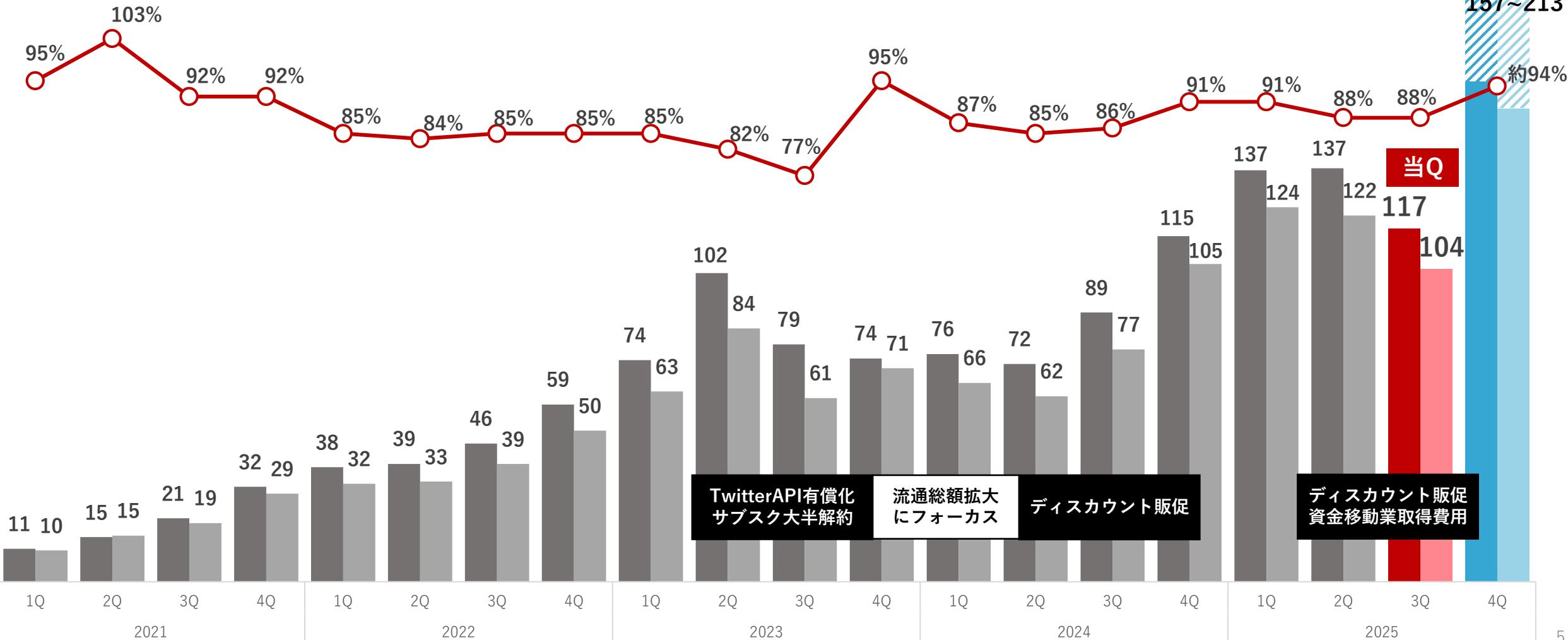
3 資金移動業取得に向けて
自粛した一部取引やファク
タリングが低調な一方で、
株主優待領域の受注好調に
より、流通総額は連続成長
を実現

流通総額拡大を最優先とし、資金移動業取得のために一部取引を自肃、及びディスカウント販促により
売上・粗利ともに前Q比で減少したが、4Qでは大幅に改善し、粗利率約94%を見込む

予測

■ 売上 ■ 粗利 ● 粗利率

(単位：百万円)



株主優待領域で流通総額100億円を目指す。2025年内には大手企業(発行1億以上)を含む100社導入の見込み。
現在、発行済企業は16社、期内約15社(予定)、残りは来期以降に収益貢献。



導入決定社数約60社

受取方の多様性 × 未使用ギフト金額は全額返金

連結損益計算書（P/L）：2025年9月期 第3四半期決算概要（IFRS適用、累計）



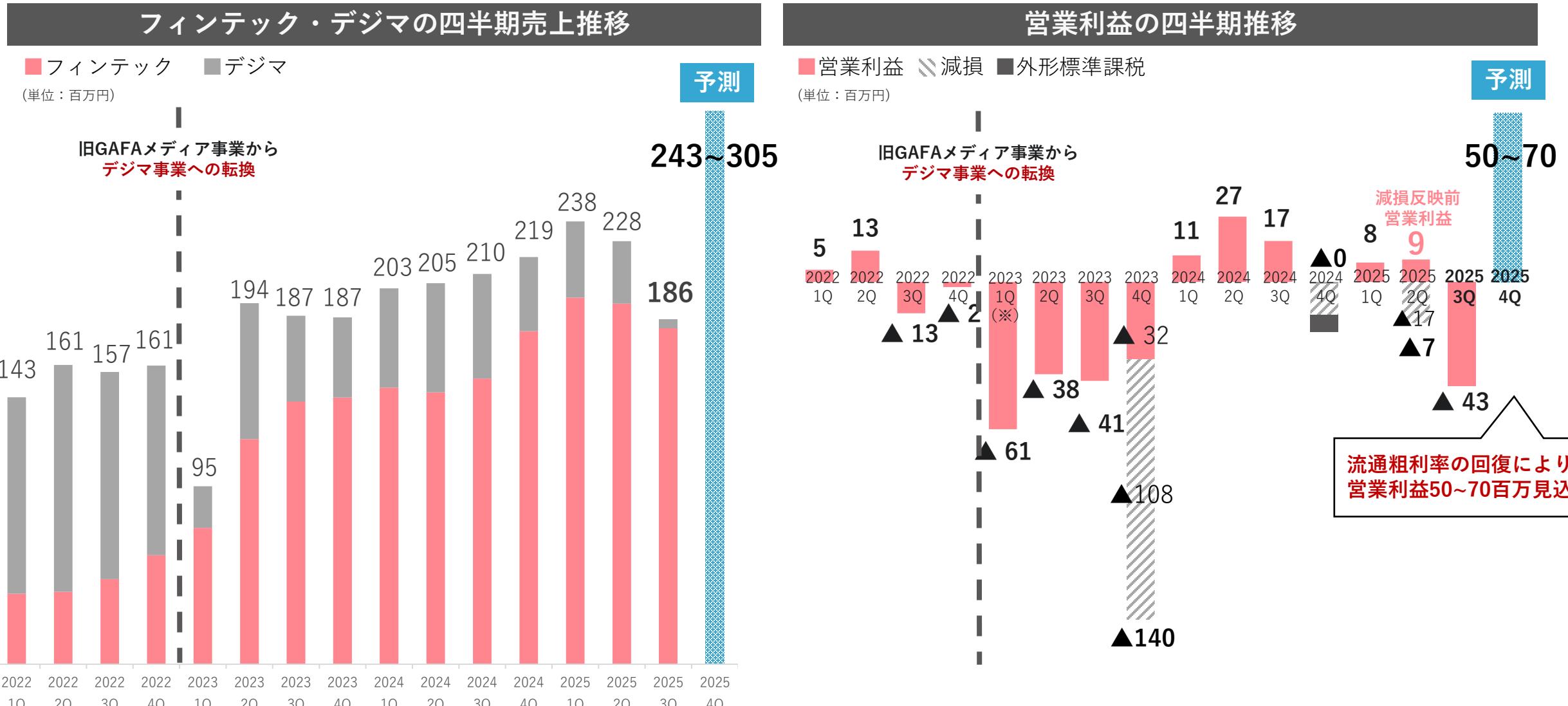
デジマ・メディアの事業売却、ファクタリング事業が低調な一方で、フィンテックセグメントの大幅な成長により、売上・粗利共に前年同期比で堅調に推移。4Qでは流通粗利率の回復により過去最高益を見込む

単位：百万円	2025年9月期 第3四半期（累計） (2024年10月～2025年6月)	2024年9月期 第3四半期（累計） (2023年10月～2024年6月)	前年同期比	当社考察
売上収益	653	619	105%	① フィンテックセグメントの高い成長に支えられ、売上・粗利ともに前年同期比で堅調に推移。一方、2Qよりさらに、ディスカウント販促による流通総額の拡大を最優先とした結果、粗利率は減少
売上総利益	511	528	97%	
売上総利益率	78%	85%	92%	
販売費及び一般管理費	586	528	111%	
その他収益及び費用	32	57	56%	② 投資による一時的な粗利率の減少、資金移動業取得費用の増加により、3Q累計では営業利益は赤字着地
営業利益	▲42	56	—	
四半期利益	▲100	66	—	
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲100	23	—	③ 子会社であるデジタルフィンテックの利益増加に伴う法人税増加及び、支払利息の増加による影響。グループ全体の税務最適化を検討中

売上・営業利益 | 四半期毎の推移



3Qはデジマ支援事業の売却、流通総額拡大に向けたディスカウント販促、及び資金移動業取得のための一部取引の自粛により前Q対比で売上が減少。4Qは、流通粗利率の回復により**営業利益50～70百万円・利益率約20%へ**



(※) 2023 1QよりIFRS適用

連結貸借表 (B/S) (IFRS適用)



流通総額拡大に向けた必要資金投入によって、現金及び現金同等物が一時的に減少するものの、十分な流動性を引き続き確保

単位：百万円	2025年9月期 第3四半期末 (2025年6月30日時点)	2025年9月期 第2四半期末 (2025年3月31日時点)	前四半期比	2024年9月期末 (2024年9月30日時点)	前期末比
流動資産	2,293	2,105	109%	1,597	144%
現金及び 現金同等物	1,043	1,171	89%	801	130%
非流動資産	649	654	99%	738	88%
資産合計	2,942	2,760	107%	2,335	126%
流動負債	1,852	1,593	116%	1,396	133%
非流動負債	194	213	91%	122	159%
資本	895	954	94%	817	110%
負債及び 資本合計	2,942	2,760	107%	2,335	126%

当社考察

- 1 株主優待ギフトの発行に係る必要資金などにより、現預金残高は一時的に減少。一方で、受注社数の増加による入金予定額が増加し、流動資産が増加
- 2 流通総額の増加に伴う、入金/発行に係る預り金の増加

流通総額拡大を最優先とし、資金移動業取得のために一部取引を自粛、及びディスカウント販促により一時的に売上・粗利、粗利率が低下。4Qは投資回収に入り、**流通粗利率約1.8倍に改善、セグメント利益1億円超を見込む**

単位：百万円	当Q実績	前Q実績	前Q比	前年同Q実績	前年同Q比
流通総額	3,349	2,994	112%	2,023	166%
売上	181	194	93%	153	118%
粗利	147	160	92%	123	120%
粗利率	81%	82%	▲1pt	80%	1pt
販管費	98	89	110%	86	114%
セグメント利益	51	71	72%	37	138%
セグメント利益率	28%	37%	▲9pt	24%	4pt

株式会社FUNDiT Media Mergersに対し、ファイナンシャルプラスを譲渡。

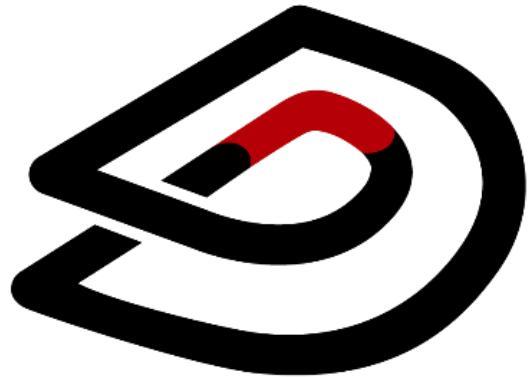
売却益1,500万円は4Q営業利益に計上。 フィンテックへの完全集中への体制移行が完了

単位：百万円

	当Q実績	前Q実績	前Q比	前年同Q実績	前年同Q比
売上高	4	33	12%	56	7%
粗利	▲7	17	—	57	—
粗利率	—	52%	—	102%	—
販管費	5	17	29%	23	22%
その他収益及び費用 (※)	11	0	—	16	69%
セグメント利益	3	0	—	34	9%
セグメント利益率	75%	—	—	61%	14pt

※:IFRS上、売上高の一部をその他収益として振替計上、及び売却に伴う減損損失を含む

人を不幸にしないための、デジタルと



デジタルプラス

はじまるここと、出会うこと、成長すること、遊ぶこと、

学ぶこと、挑戦すること、愛すること、

失敗しても、またはじめられること。

前に進む人生のすべてに、

一緒にいるデジタルを提供していく。

無意識のうちに、つい、あきらめてしまっていることを、

叶えられることに変えていく。